

形成外科

1 構成員

	平成22年3月31日現在	
教授	0人	
准教授	1人	
講師（うち病院籍）	0人	（ 0人）
助教（うち病院籍）	2人	（ 1人）
助手（うち病院籍）	0人	（ 0人）
特任教員（特任教授，特任准教授，特任助教を含む）	0人	
医員	2人	
研修医	0人	
特任研究員	0人	
大学院学生（うち他講座から）	0人	（ 0人）
研究生	0人	
外国人客員研究員	0人	
技術職員（教務職員を含む）	0人	
その他（技術補佐員等）	0人	
合 計	5人	

2 教員の異動状況

深水 秀一（准教授）	（H19. 2. 1～19. 3. 31 助教授；19. 4. 1～現職）
藤原 雅雄（助教）	（H19. 4. 1～現職）
鈴木 綾乃（診療助教）	（H19. 4. 1～21. 3. 31 医員；21. 4. 1～現職）
水上 高秀（医員）	（H19. 4. 1～現職）
永田 武士（医員）	（H21. 4. 1～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成21年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5編	（ 0編）
そのインパクトファクターの合計	4.60	
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編	（ 0編）
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1編	（ 1編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1編	（ 0編）
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Mizukami T, Fujiwara M, Suzuki A, Fukamizu H: Extensive pyoderma chronica: Two case reports - Treatment of pyoderma chronica -. 日本形成外科学会誌 29, 259-264, 2009.
2. Fujiwara M, Mizukami T, Suzuki A, Fukamizu H : Sentinel lymph node detection in skin cancer patients using real-time fluorescence navigation with indocyanine green: preliminary experience. J Plast Reconstr Aesthet Surg 62, e373-378, 2009
3. Fujiwara M, Suzuki A, Mizukami T, Terai T, Fukamizu H: Prefabricated scalping forehead flap with skeletal support. J Craniofac Surg 20: 1182-1185. 2009

インパクトファクターの小計 [1.951]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Ito T, Fukamizu H, Ito N, Seo N, Yagi H, Takigawa M, Hashizume H: Roxithromycin antagonizes catagen induction in murine and human hair follicles: implication of topical roxithromycin as hair restoration reagent. Arch Dermatol Res 301: 347-355, 2009

インパクトファクターの小計 [1.415]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Ito R, Fujiwara M: Lower lip reconstruction with a hard palate mucoperiosteal graft. J Plast Reconstr Aesthet Surg 62: e333-336, 2009

インパクトファクターの小計 [1.235]

(4) 著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 深水秀一, 藤原雅雄: 遊離植皮術における種々の工夫. 楠本健司編, PEPARS. No34. 遊離植皮術のコツとup date, 全日本病院出版会, 東京, 66-73, 2009.

(5) 症例報告

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Kawakatsu M, Fujiwara M, Iwasaki K, Sumiya A: A case of venous varix of the volar digit and review of the literature. Hand Surg. 14: 53-56, 2009

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成21年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成21年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	4件 (120万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	1件	3件
(4) 学会開催回数	0件	1件
(5) 学会役員等回数	0件	3件
(6) 一般演題発表数	0件	

(1) 国際学会等開催・参加

4) 国際学会・会議等での座長

深水秀一：第19回日中形成外科学会，横浜市，2009.10. 5-6.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

第17回日本熱傷学会東海地方会 2010.1.23.

4) 座長をした学会名

第25回日本皮膚悪性腫瘍学会総会学術集会
第44回日本形成外科学会中部支部学術集会，
第6回日本乳癌学会東海地方会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

深水秀一：日本形成外科学会評議員，日本皮膚悪性腫瘍学会評議員，日本褥瘡学会評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成21年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成21年度
産学共同研究	0件

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. インドシアニングリーン（Indocyanine green）を用いた皮膚の血行動態の評価
2. 皮膚悪性腫瘍におけるインドシアニンググリーン（Indocyanine green）とRIを併用したセンチネルリンパ節（sentinel lymph nodes）の同定と評価

上記について論文発表および学会発表を行った。また2に関しては厚生労働省研究班でデータの報告を行った。